

同志社大学教育の3つのポリシーを策定するための基本方針

同志社大学は、建学の精神並びに大学の教育理念及び教育目標に基づき、入学者選抜から学位授与までの教育の諸活動を一貫するため、教育の3つのポリシーを下記のとおり策定する。

なお、策定したポリシーは、本学学則・大学院学則第1条の2及び専門職大学院学則第2条に基づき、自己点検・評価並びに認証評価の結果を踏まえた不断の見直しを行う。

記

1. 教育の3つのポリシーについて

(1) ディプロマ・ポリシー（卒業の認定・学位の授与に関する方針。以下「DP」という。）

DPは、本学の建学の精神並びに大学の教育理念及び教育目標に基づき、学部学科、国際教育インスティテュート及び大学院研究科専攻（以下「学部等」という。）が定める人材養成目的を達成するため、どのような資質・能力を身に付けた者に卒業・修了を認定し、学位を授与するのかを定める基本的な方針であり、学生の学習成果の目標となるものを定める。

(2) カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針。以下「CP」という。）

CPは、DPの達成のために、どのような教育課程を編成し、どのような教育内容・方法を実施するのかを定める。

(3) アドミッション・ポリシー（入学者の受入れに関する方針。以下「AP」という。）

APは、学部等が定める人材養成目的、DP、CPに基づく教育内容等を踏まえ、どのような入学者を受け入れるかを定め、受け入れる学生に求める学習成果を示す。

2. 策定単位

DP、CP、APのいずれも、学部においては学科単位、国際教育インスティテュートにおいては学位プログラム単位、研究科においては課程別専攻単位とし、その中で複数の学位を授与する場合は、当該学位に付記する専攻分野単位（以下「学位プログラム」という。）として策定することを原則とする。

学位を授与しない教育プログラムや複数学部・研究科横断型の教育プログラム等においては、教育プログラム等を単位としてCPを策定することを原則とする。

3. 策定方針

本学学生の学習目標として、また、卒業生の資質・能力を保証するものとして機能すべく、DP、CP、APを一貫性・整合性のあるものとして、明確かつ具体的に策定する。

(1) DP

- ・当該学位プログラムが養成する資質・能力について、学力を構成する「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性・多様性・協働性」の3つの要素（以下「学力の三要素」という。）別に定める。
- ・身に付けるべき資質・能力の獲得度を、特定の指標・基準により定量的または定性的な根拠に基づき評価することができるものとする。

(2) CP

- ・DPで規定した資質・能力の獲得を実現するための教育課程の編成（配当する科目の内容）と運用（単位数、授業実施方法）について定める。
- ・高校教育から大学教育に至る学力の三要素の連続性・接続性を意識して定める。

(3) AP

- ・どのような能力を身に付けてきた学生、あるいは身に付けようとしている学生を求めているかを、学力の三要素別に定める。
- ・高等学校段階までの学習で身に付けて欲しい事項を、教科や科目ごとに示す。
- ・取得しておくことが望ましい資格等があれば明示する。
- ・以上の事項を評価するための方法、また、複数の評価方法を用いる場合はその比重を示す。

4. その他

策定方針に基づく具体的な記述、運用、公開等に関するガイドライン及び学位を授与しない教育プログラムや複数学部・研究科横断型の教育プログラム等の策定単位は、別途「同志社大学ディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシー運用ガイドライン」に定める。なお、APに関するガイドラインは別途「同志社大学アドミッション・ポリシー運用ガイドライン」に定める。

以 上